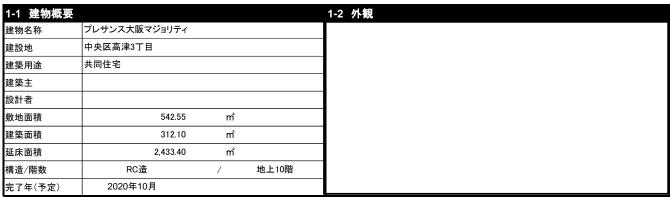
R01-068h.xlsx 計画概要書

# **◆★BBEE**建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2





L	熟負何	ルキー	ム効率化	連用	保護	使用削減	凹赶	への配慮	への配慮	・ハの配慮
E	3 設計上の配	慮事項								
E	総合							その他		
1	全面的なF☆☆☆☆	の採用、給排	‡水配管におい	て更新必要間隔の	長い配管の採用など、	室内環境に特化	しています。	特になし。		
ı										
ŀ	24 京中遷接	_		01	2 サービス性能			O2 安州理特(動力	h rts \	
ъ	21 室内環境			Q <sub>4</sub>	グーレ人性能			Q3 室外環境(敷均	EM)	
	「☆☆☆☆をほぼ全i 質汚染を回避して		<b>、化学汚染物質</b>		非水配管において更新 維持管理しやすい設			特になし。		
ľ	_R1 エネルギ-	_		LF	12 資源・マテリア	プル		LR3 敷地外環境		
41	寺になし。			特(	こなし。			ライフサイクルCO2排 です。	#出率が一般的な	建物と同等レベル

R01-068h.xlsx 環境表示結果

## 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

### 総合評価BEE = 0.7

ラベル表示



環境性能			五点	EMVの内部には、またいででは、 エルドー前は、一番のでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが
(1)CO2削減		3.	0	「CASBEE 大阪みらい 新楽」2018年版 <b>受付番号 令和元年 Na.</b> 068
CO2削減に配慮し	CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR3/ 1 / /	LR3/1/ / 地球温暖化への配慮			
配慮事項 特になし。				

	環境性能	評値	西点	
(2)みどり・ヒート	(2)みどり・ヒートアイランド対策			
みどり・ヒートアイラン	ンド対策に配慮した環境性能			概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0		
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0		
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0		
配慮事項	特になし。			

環境性能			西点	
(3)建物の断熱性	(3)建物の断熱性			
CO2削減に配慮し	CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 1 / /	LR1/1/ / 建物の熱負荷抑制			
配慮事項特になし。				

	環境性能		あ 点	
(4)エネルギー削減		4.	0	
CO2削減に配慮し	CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/3//	設備システムの高効率化	3.5		
BEI=0.95です。LED照明を採 配慮事項		採用し	ていま	<b>ं</b>

## 省エネルギー基準計算結果

基準 適合状況	
------------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時) (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

	住宅部分(品確	法等級)	非住宅部分[BPI]	[BPIm]		
外皮性能	等級3	(相当)	-			
	建物全体[BEI][B	EIm]	住宅部分[BEI]		非住宅部分[BEI]	BEIm]
一次エネルギー消費量	0.95		0.95		-	

R01-068h.xlsx 検討(太陽光)(2)

#### 再生可能エネルギー利用設備導入検討シート(太陽光発電設備用)

① 周辺環境の把握	
© 1-37-1/201-71-01-1	
② 日照条件の検討	
ア 検討対象とする場所 ■ 屋根部 地上高さ ( 29 ) m	
□ 地上部 ( □ 空地部分 □ その他 )	
□ その他 ( )	
イ アの周囲における日射遮蔽物 ■ なし	
□ あり	
方位 ( ) 高さ(約 ) m 水平距離(約	) m
方位 ( ) 高さ(約 ) m 水平距離(約	) m
方位 ( ) 高さ(約 ) m 水平距離(約	) m
方位 ( ) 高さ(約 ) m 水平距離(約	) m
方位 ( ) 高さ(約 ) m 水平距離(約	) m
ウ 日照の確保(冬至) ■ 十分 □ 不十分	
③ 日照条件に適合する場所の検討	
ア 設置可能面積等 ( 266.8 ) ㎡方位( 真南 ) 設置角度( 30	)度
イ 設置可能太陽光パネル面積 ( 106.7 ) m <sup>3</sup>	
ウ 設置可能容量 ( 16.0 ) kw	
エ 利用設備に対する荷重対策 □ あり ■ なし	
オ 設置に備えた対応 □ なし □ あり (例:設備用基礎の設置)	
	)
④ 導入判断	
検討結果 □ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入	
■ 導入しない	
導入を見送る理由(複数選択可)	
□ 日照が確保できない	
■ 躯体が荷重に対応できていない	
□ 敷地内に設置する場所を確保できない	
■ 費用負担が大きい	
□ 本計画では見送るが、将来対応可能とする	
□ その他 (	)
2 導入する設備の概要	
ア 太陽光パネル面積 ( ) ㎡	
イ 発電容量 ( ) kW	
備考	
ר. פוא	

#### 再生可能エネルギー利用設備導入検討シート(太陽熱利用設備用)

1 設備導入の検討								
① 周辺環境の把握								
② 日照条件の検討								
ア 検討対象とする場所	■ 屋根部 地上高さ( 29 )m							
	□ 地上部 ( □ 空地部分 □ その他 )							
	□ 壁面							
	□ その他 ( )							
	■ なし							
	□ あり							
	方位 ( ) 高さ(約 ) m 水平距離(約	) m						
	方位 ( )高さ(約 )m水平距離(約	) m						
		_						
		) m						
	方位()高さ(約)の水平距離(約	) m						
	方位 ( )高さ(約 )m 水平距離(約	) m						
ウ 日照の確保(冬至)	■ 十分 □ 不十分							
③ 熱需要の条件等の検討								
ア 建築物の用途	共同住宅 共同住宅							
イ 熱需要対象用途	□ 冷房 ■ 暖房 □ 給湯 □ その他(	)						
ウ 設置可能面積	( 266.8 ) m <sup>i</sup>							
工 概算年間熱利用量	( 232,286 ) MJ/年							
オ 利用設備に対する荷重対策	□ あり ■ なし							
カ 設置に備えた対応	■ なし □ あり (例:設備用基礎の設置)							
	(	)						
④ 導入判断								
   検討結果 □ 導入する →具体的	りな検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入							
■ 導入しない								
導入を見送る理由(複数	選択可)							
□ 日照が確保できない								
■ 躯体が荷重に対応で								
■ 製地内に設置する場								
	IN CHEM COM							
■ 費用負担が大きい	が ホ トート たって とり レナフ							
	、将来対応可能とする	,						
□ その他 (		)						
2 導入する設備の概要								
ア 集熱パネル面積	( ) m²							
イ 概算年間熱利用量	(							
ウ 熱需要対象用途 □	冷房 □ 暖房 □ 給湯 □ その他 ( )							
備考								
, mm - 2								